

# いちよう

## 「仏心」

本堂部長 杉本真海

仏道修行の最終的な目標は、悟りを開くことにあります。

仏教では、我々を含めたすべての衆生は悟りを開くのに必要な要素は既に持っているとしてされており、それを仏心と呼んでおります。

しかし我々凡人の仏心のまわりは煩惱に覆われており、見えない状態になってしまっております。

その覆われた煩惱を除き、仏心を顕わにしていくのが仏道修行といえます。

浴油祈祷においては、煩惱を垢と例え、頂上から油を浴びることでそれを除き、本来の姿である毘盧遮那如来(悟りに導く如来=大日如来)を顕わすと表現されております。

浴油行者自身も、御祈祷の前に水を浴び、門前に於いて清浄水を浴び、また壇上に於いても清浄水を浴び、煩惱の垢を流します。

さて、仏道修行というと一般の御信徒からすると堅苦しく聞こえますが、仏教寺院には煩惱を洗い流す仕組みが多

くあります。

座禅や写経などはもちろん仏道修行ですが、例えば水屋で手を洗う行為、手を合わせてご本尊様に礼をする行為も煩惱を除くための所作です。

また、当院においては三大煩惱とされる貪(むさぼり)瞋(いかり)痴(迷い)に対してはそれぞれ巾着(むさぼり)大根(いかり)酒(迷い)が当てはまります。お賽銭を入れる行為、大根をお供えする行為、お神酒をお供えする行為それぞれが貪瞋痴の煩惱から離れる、すなわち洗い流す行為ともとらえられます。それらの行為は仏道修行に違いはなく、正しい心づもりで続けていくことによって必ず仏心が見えてきます。

我々人間は欲深い存在ですので、仏心を覆う煩惱の垢は一朝一夕に流しきれぬわけではありません。また放っておくと世間に揉まれ新たな垢に次々と覆われていきます。

細く長く信仰を続け、つねに心を清潔に保つことが肝要でしょう。



# 洗心



境内の手水屋には『洗心』と記されています。そこで手や口をすすぎお堂へ上がられる方も多いかと思えます。これを何気なく行っていませんか？

洗心とは字のごとく「心を洗う」ことですが、果たして心を洗うとはどういうことなのか？

「心を洗う」とは、穢れた部分を洗い落とすことで心が綺麗になる。つまり、清々しい気分になることを表しています。

穢れを落とすと聞くと難しく聞こえますが、簡単な方法がございます。何気なくではなく、心の中で手だけでなく「体を清めてお参りする！」と少し念じてから手や口をすすいでみて下さい。

その後、自然に囲まれた参道を進み、より一層清々しい気持ちの中、宝前で手を合わせれば、この上ないお参りができるでしょう。

また、自宅などでの身の周りの掃除や整頓などもこれもまた心に念じたのちに取り組み、いざ綺麗になった身辺を見渡せば、清々しい気持ちになり、心も洗われていることでしょう。心を洗うには、「心で念じ」「行動を起こす」どちらも欠かす事はできません。

今後の信仰や日常生活を送る上でのヒントになれば幸いです。

現在はコロナ禍のため手水屋の使用は限られていますが、状況をみて再開を考えております。

## ◀ 行事報告 ▶

### 「香湯加持会 報告」

5月20日(金)香湯加持会を執行いたしました。今回は3年ぶりにお加持を再開し、多くのご信徒の皆様にご参加いただきました。



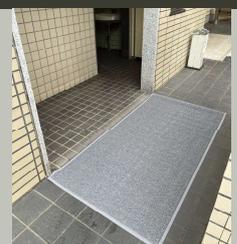
### 「礼拝作法説明会 報告」

5/29、6/5以前より新しいご信徒の皆様からご要望が多かった住職による「礼拝作法説明会」を開催しました。広間での座学に続いて境内で実践的な作法を説明し、ご参加の皆様は作法を体得しようと真剣に耳を傾けておられる様子でした。次回、7/3も同内容で開催予定です。



### 「御奉納」

加藤英一様より駐車場手洗い用フロアマットをご奉納いただきました。有難く使わせていただきます。ありがとうございました。



## 行事紹介

### 出世観音供養会



7月17日(日) 午前11:00 講金:1,500円也

7月17日、出世観音供養会を執行いたします。昭和初期の境内整備中に室町時代末期の作とされる御尊首(ごそんしゅ)が土中より発見され、ご信徒様のご寄進により御尊体を作り、開眼供養が営まれ、以来現在まで出世観音菩薩様はそのありがたい因縁から、老若男女問わず多くの方々に信仰されております。法要当日は観音様の御宝前で『観音経』をお唱えします。『観音経』の功德によって、より一層出世観音様とのお縁を深めましょう。

### 常香講



7月20日(水) 午前11:00 講金:1,500円也

7月20日、常香講大般若法要を執行いたします。仏教において香を用いることは、心身を清浄にする功德があるといわれております。常香講当日は堂内の清浄な雰囲気の中、常に心身を浄めることの大切さをより一層感じていただければ幸いです。法要後お守りと塗香を授与いたします。

上記各法要は、感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます

## 期間限定行事

場所:待乳山本龍院 信徒会館大広間  
参加方法:寺務所にて事前予約

※注意事項:マスクは必ず着用して下さい。  
お勤めは黙読または微音でお願いいたします。

### ① 礼拝作法説明会 定員:30名

日時:7月3日(日) 午後1:00～

住職よりお勤めの仕方など、実修を交えた作法説明会を行います。

※経本(大聖歡喜天禮拝作法)と念珠をお持ちの方はご持参ください。  
貸出用もご用意いたします。(説明内容は5月・6月開催と同じです)

### ② 坐禅の会 定員:35名

日時:7月23日(土)  
午前9:30～10:30

## お知らせ

### 【諸行事参加について】

#### ●朝まいり会・写経の会 ▶予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会・写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月1日から7日(正月は8日から14日まで)開催しております。写経の会は第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ午前10時の開催となります。いずれも毎月15日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。



#### ●諸講・合同大般若法要

諸講・合同大般若法要へのご参加がいただけます。引き続きライブ配信も行いますので、そちらも併せてご利用ください。  
※感染状況に応じて、ご参加をお控え頂くこともございます。HP・ブログ等をご覧ください。



### ～百度石(ひゃくどいし)～

平安時代の末頃から始まったとされるお百度参り。百度参りとは心中の祈願をこめ、一心に石の間を数珠などで100回数えながら往復する参拝の方法です。多くの寺社では参道に石があり本堂と石を往復しお参りする形ですが、当院では本堂裏東西に1基ずつ置かれ、往復で1回と数えます。100回が基本ですが、回数だけが大事ではなく、お時間が許す範囲にでも心中の祈りに集中してお参りされることが重要です。また、ここぞという時や集中力を高めたい時などにお百度を踏んでみてはいかがでしょうか？



## 7月行事予定

**出世観音供養会** 7月17日(日) 午前11:00 講金:1,500円也

**常香講** 7月20日(水) 午前11:00 講金:1,500円也

講中はご信徒様にも感染対策にご協力の上、法要にご参加いただける予定です。  
(社会情勢に応じて、参加をお断りする場合がございます、その際 HP などで告知致します)  
ライブ配信もございます。そちらもどうぞご利用ください(詳しくは3面をご覧ください)

**合同大般若法要** 7月25日(月) 午前11:00 法要料:5,000円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。  
法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(3面をご覧ください)

※下記行事のご参加は事前予約制です。予約は毎月15日より(080-7419-1297)まで。

**朝まいり会** 7月1日~7日 午前8:00~8:30 会費:500円也

**礼拝作法説明会** 7月3日(日) 午後1:00~ 会費:無料

**写経の会** 7月9日、10日(土、日) 午前10:00 会費:500円也

**坐禅の会** 7月23日(土) 午前9:30~10:30 会費:500円也

## 8月の行事

**灯明講** 8月20日(土) 午前11:00 講金:1,500円也



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。  
ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。

